

ふじみ衛生組合新ごみ処理施設建設ニュース

v o L 2 3 平成22年8月発行

ふじみ衛生組合（組織市：三鷹市・調布市）

今月号は、土壌調査の結果、解体工事の完了、建設工事着手、事業概要・工事説明会の結果、についてお知らせします。

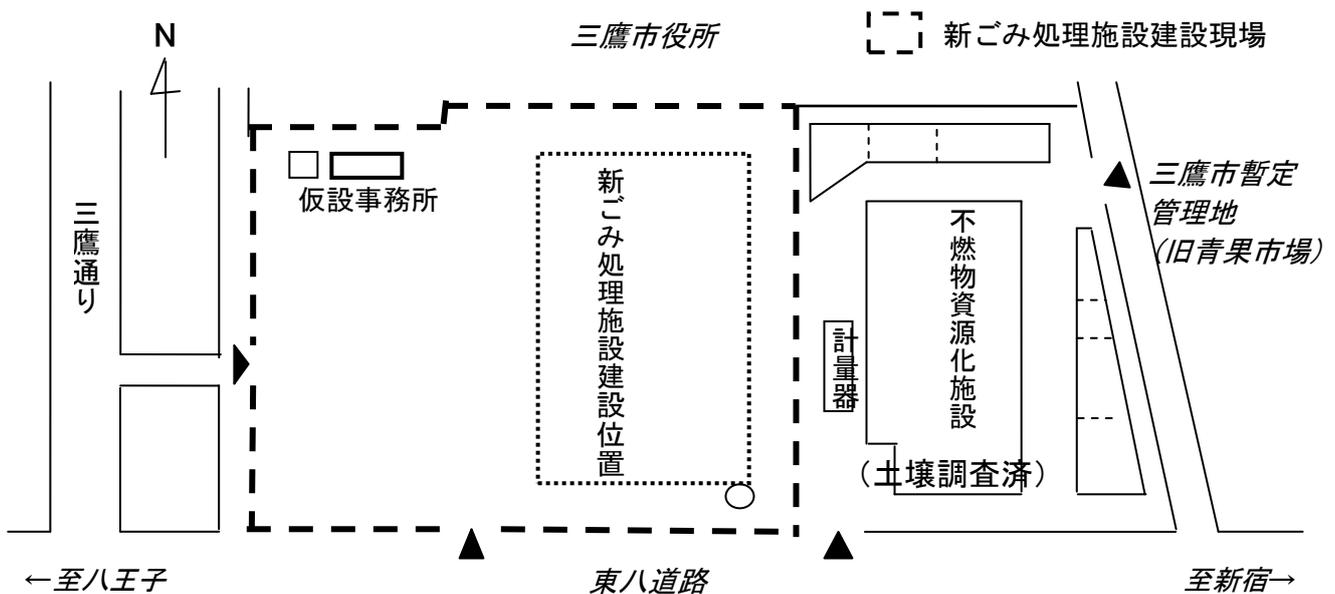
1 土壌調査の結果

新ごみ処理施設建設地に係る（下図「」の区域）土壌調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

●調査日（試料採取日）：平成22年5月14日～16日、6月22日

●調査結果：土壌ガス16地点採取調査、土壌試料72地点採取調査の結果すべての地点で基準値以下でした。

※これをもってふじみ衛生組合の敷地すべての土壌調査は完了しました。



2 解体工事が完了

上図「」の区域にあった調布市クリーンセンター、三鷹市車庫棟、ふじみ衛生組合粗大ごみ処理施設、管理棟等の建物の解体が平成22年7月28日をもってすべて完了しました。

3 新ごみ処理施設建設工事に着手

平成22年8月17日から新ごみ処理施設建設工事に着手いたしました。

なお、調布市から新ごみ処理施設の建築に係る確認済証が8月12日に交付されました。

4 新ごみ処理施設整備事業の概要並びに建設工事説明会の結果

平成22年7月30日、31日の2日間、事業の概要並びに建設工事説明会を開催し、34名の市民の皆さまにご出席いただきました。

● 主な質疑

- ・ 質問 どうしてこの場所に建設することになったのか。

回答 平成14年1月に設置された市民による基本計画検討委員会で、候補地の検討が行われ、6か所に候補地が絞り込まれました。検討委員会は、最終的にその中から「行政が最終決定する」こととしました。その後、行政が候補地の中から最終評価を行い、「ふじみ衛生組合及びその周辺の用地」に決定しました。

- ・ 質問 立面図では、28mの高さの線を超えているのではないのか。

回答 建物は28mです。超えて見えているのは、建物内部の熱を放出する機械（ベンチレータ）です。

- ・ 質問 ダイオキシンが基準値以上排出されたらどうするのか。

回答 焼却炉の稼働を停止し、原因究明、修繕、テスト後、再稼働します。

- ・ 質問 焼却炉は最新型なのか。平成25年度稼働までに古い型にならないか。

回答 焼却炉はストーカ炉で豊富な実績があり最新式のもので、技術改良は5～10年ぐらいのスパンで行われています。

- ・ 質問 工事中の騒音、振動の程度は。

回答 解体工事のときの実績でも、騒音は、最大65dB、振動は56dBで、東京都環境確保条例での勧告レベルの騒音80dB、振動70dBの基準値を下回っていました。新ごみ処理施設の建設工事も同様に基準値を下回るよう施工します。

- ・ 質問 環境影響評価書の緑化、周回道路に戻してほしい。

回答 環境影響評価書の配置とは異なりますが、緑地率は30%以上を目標とします。

- ・ 質問 煙突の掃除をどの程度行うのか。

回答 煙突清掃は、排出ガスにばいじんがほとんど含まれないため、煙突清掃の必要がないと考えています。

- ・ 質問 ろ布（フィルター）に付着した有害物質はどうするのか。

回答 ろ布（フィルター）に付着した有害物質は、定期的に圧縮空気で払い落とし、飛灰としてエコセメント化施設に搬入し、1,400℃の高温で焼成してエコセメント化する過程で有害物質を除去し、適正に処理します。

5 第9回地元協議会開催のお知らせ

日時 平成22年8月27日 午後6時30分から

場所 三鷹市暫定管理地 事務所棟3階大会議室

問い合わせ

ふじみ衛生組合 新施設建設準備室担当：田中、深井 電話 042-490-5374